



# ホタル

平成30年2月16日発行  
八戸市立白銀南小学校  
TEL 33-1126

## 人の心とは何だろう、記念講演から

校長 高谷 信行

今年の冬は、例年になく寒く感じました。平均気温が氷点下（マイナス）の日が、ずいぶん長く続いたように思います。日本の一番寒かった日は1902年1月25日で、北海道の旭川で氷点下41.0度を記録しました。この日は、青森県の八甲田山で山岳史上最悪の遭難事件が起こった日でもあります。ロシア軍の侵攻で青森市が封鎖された場合に備え、八甲田山を越え十和田・八戸に至る雪中行軍の演習をしていた青森歩兵第5連隊およそ200名が凍死でなくなるという事件でした。この悲劇は新田次郎の小説「八甲田山死の彷徨」で取り上げられ、映画にもなりました。

白銀南小学校の子どもたちは冬の寒さに負けず、元気に校庭でサッカーをしたり体育館でなわとびや鬼ごっこをしたりして楽しんでいます。罹患者数からみると、心配されたインフルエンザも現在は落ち着いています。24節気は立春から雨水へ。春は、もうすぐそこまで来ているようです。明日から『えんぶり』が始まります。外にはえんぶりの太夫の持つ「ジャンギ」の金輪の音が聞こえてきそうです。

1月30日に本校体育館で、30周年記念事業の1つである講演会が行われました。駒沢女子大学教授・千葉県宝林寺住職である千葉公慈さんに来校いただき、「生活の中に生きる先人の教え～人間の心とは何だろう～」と題して講演いただきました。講演では『ドラえもん』の話を持ち出し、小学校1年生からひきつけていました。『自分のなまけ心に勝った者こそ本当の勝利者。他人と比べて勝つことよりもはるかに優れている。』『一つの物事でも、人によってさまざまな見方がある。』『人は行いを整えることによって、三毒；むさぼり・いかり・うぬぼれ⇒三心；よろこび・やさしさ・こころざしに変えられる』というお話をいただきました。子どもたちにもわかりやすい、ありがたいお話でした。



